

キラリタイム指導計画案 (ロング・ショート)

担当者 (大久保)

| | |
|--------|---|
| 日時 | 平成23年11月15日(火) 13:20~13:55 (35分間) |
| 題材名 | 「1まいのアートカードから・・・」～感じたことを友だちに伝えよう～ |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～8枚のアートカードや絵の中から、1点選んだ作品について、それから受けた印象を形、色などを基にそのイメージなどを言葉で表現する。 ・ 作品について、いろいろな見方や感じ方を伝え合い、鑑賞の楽しさを味わう。 |
| 題材について | <p>自分で選んだアートカードの作品について、作品から受けた印象を形、色などを基にそのイメージなどを言葉で表現する題材である。5, 6学年では、『図画工作科教師用指導書学習資料編』に付属しているアートカード40枚, 3, 4学年では県立美術館アートカード56枚の中から、学年・学級の実態に合わせた作品を選ぶ。1, 2学年では、絵本『まるいちきゅうのまるいいちにち』の中から4人の作家が描いた作品の鑑賞をする。この鑑賞活動を通して、自分の選んだ作品のよさや面白さを形や色などを基に、自分なりのイメージをもつことができる。また、ワークシートに書いたり、友だちと話し合ったりすることで自分らしい表現に自信をもつことができ、お互いの感じ方の違いを認め合うことができる共感的な雰囲気が学級内にあふれることを期待する。</p> |
| 準備物 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシート ○ 筆記用具 ○アートカード (各クラス4枚～8枚×6～8セット) ○ 掲示用絵 (低学年) ○探検バック (低学年) |
| 学習の流れ | <ol style="list-style-type: none"> 1 事前に6～8グループに机を合わせておく。※1,2学年は机を下げ黒板前を広くする。 2 放送を聞き、題材名とめあて、みる視点を知る。 <p>「1まいのアートカードから・・・」～感じたことを友だちに伝えよう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 各グループにアートカードを手早く配る。1, 2学年は絵を掲示する。 4 じっくり鑑賞したあと、ワークシートに書き込む。 5 ワークシートをもとに、話し合う。 |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>アートカードについては学年、学級の実態に合わせて選ぶ。</u> ※県立美術館のアートカードは、輪ゴムの使用をしない。 ・ 形や色などのみる視点を示し、そこから自分なりのイメージをもてるようにする。 ・ カードをじっくり手にとって鑑賞させたり、そばに近寄って鑑賞させたりする。 ・ 学級や学年の実態に合わせて、グループ内でみる視点に沿って話し合わせてもよい。 ・ ワークシートを早く書き終わった児童には、シートの裏に選んだ絵を描かせて待たせる。 |

板書例

1 まいのアートカードから・・・

～感じたことを友だちにつたえよう～

形、色、イメージについて

めあて

- ① 学年のめあて (裏面参照)
- ② 心をはたらかせて、感じたことをつたえよう

心をはたらかせて